



takara tarot

世界観

ワンドの5で摩擦や葛藤を経験し成長を遂げたら、今度は進むべき方向性が決まってきます。ワンドの6の場合は必ず誰かが助けをくれたり、誰かの協力がある事を示唆するカード。ただ、ワンドの6の馬は作り物なので「一時的な協力や一時的な勝利」を示しています。もしも自分が「協力者などいない」と思っている場合は、それはほぼ思い込みでしょう。協力者がいないと思う人は、実際に周りに協力を要請してみましょう。必ず誰かが名乗りを上げてくれるはずで

状況として出た場合

正位置・・・自分のやりたい事に対して、誰かが必ず協力してくれる事を示しています。自分の立ち位置は主に「主役・主人公・助けられる側」と見て問題ありません。一時的とはいえ、自分の夢や野望・情熱を叶えてくれる方向に事態が動いてくるでしょう。

協力・主役・主人公・助けがある・応援される・勝利・優越感・サポートがある・友情

逆位置・・・自分自身やりたい事があり、それに向かって頑張ろうとしているのは同じですが、逆位置の場合は「誰の応援も得られない」と思い込んでいたり、人と自分を比べて勝手に劣等感を抱く場合が多いでしょう。自分には何も取り柄が無いとってしまった為、周りにただ流されてしまうような状況を示しています。主人公になりたいと思っているのに、自信の無さから出来ない場合もあります。

応援が無い・置いてきぼり・劣等感・脇役・流される・妥協・負ける

気持ち・恐れ・願望として出た場合

正位置・・・目立ちたい何かがあったり、協力してもらいたい事や、自信を持ってやりたい事がある状態を示す。他の誰よりも特別でありたいという願望も。

主人公・主役・目立ちたい・勝利したい・協力してもらいたい・自信・特別

逆位置・・・目立ちたいという野望をいただくものの、出来なかつたり自信がついてこない。周りと自分を比べて落ち込んでしまう。その他大勢になってしまう。主役の座を奪われる。または、そういう状況を恐れている場合も。

依存・物質的執着・自分が無い・悲観・不安・支配・足を引っ張られる



周囲の環境・評価として出た場合

正位置・・・周りが協力してくれたり、勝利へと導いてくれるような状況が整う。自分が主役になれる。応援される。周りより目立つ事ができるようになる。評価の場合は主人公、主役、リーダー気質だと思われる。

協力がある・勝利・応援・主役・目立つ・リーダー・責任者・まとめ役

逆位置・・・我が強すぎる又は主張をしなさ過ぎたりして失敗したり、その他大勢に埋もれてしまう。目立てない。活躍できない。勝利を掴み取れない。評価の場合は、自信がなさそうに見えたり主張がない人に見られる。印象が薄い。

失敗・転落・横取りされる・脇役・目立てない・自信が無い・印象が薄い・我が強い



アドバイスに出た場合

正位置・・・運気はあなたの味方に付いています。もしも何かやりたい事や進展させたい事があるのならば、行動あるのみ！周りに協力してもらいながら、進んでみましょう。協力してくれる人がいない場合でも、今ならあなたに文句を言う人は少ないはずです。やりたいようにやってみる事で、周りの誰よりも目立つ事ができるようになります。そして自然に、周りの人があなたを応援してくれるようになるはずで。自信が無くても最初の一步を踏み出してみる事で、勝利を掴む事ができるでしょう

逆位置・・・周り自分と自分を比べたり主役の座を誰かに譲ってしまったたり、行動しないというのは、とてももったいない時です。自分のやりたい事を叶える為にはまずは自分で動く事。誰とも比べない事。自分が自分の人生の主人公となる事が必要です。行動する事で周りは必ずあなたを応援してくれるようになります。怖がらずに最初の一步を踏み出してみましょう。すでに主役だという自覚がある場合は、我が出すぎないように「今の自分がいるのは周りの人のおかげだ」という認識をしっかりと持ち、周りの人に感謝をしながら進むと良いでしょう。そうする事で、良い状態を持続させる事ができるはずで。



魔法の言霊

「自立っても良い」「出る杭になっても良い」「応援されても良い」
「勝っても良い」「協力してもらっても良い」「自信を持っても良い」
「自分は自分で良い」「負けても良い」「主役じゃなくても良い」



ワンドの6からのメッセージ

ワンドの6が出た場合は、人も運氣も味方に付く時となっています。

ですから自信を持って、人生を信頼してどんどん前進してみましょう。応援してくれる人のおかげであなたは勝利する事ができます。その事に敬意を払いながら、自分自身の役に集中して「今」を演じ切りましょう。あなたはまさに、主役なのです。あなたをメインにいろいろな物語が繰り上げられます。

あなたはどんな物語を展開したいですか？あなたが動けば周囲の人たちも動き出します。自信が無くてその他大勢になってしまっている時も、今からあなたが「主役になる」と決めれば、役柄を逆転させることが可能です。

その為には、周りの演者と自分を比べない事。自分だけのストーリーを思い描き、その通りに行動してみる事です。自分を一步引いた目線から眺め、自分を動かすつもりで行動する事を楽しんでみて下さい。もしも失敗をしてしまった場合や馬から転落してしまった場合は、それも劇中の一幕にすぎません。そこからどんな展開が待ち受けているのか？どんな伏線になっているのか…？ワクワクしながらまた演じてみましょう！